

## 〈研究成果の紹介〉

## 上品なマスカット香を持つ黄緑色ブドウ新品種「シャインマスカット」

農業研究部伊賀農業研究室

## 1. 成果の内容

最近のブドウの栽培品種は、全国的に「巨峰」に偏り生産過剰傾向で価格も伸び悩んでいます。そのような中で、三重県の伊賀地方では、全国に先駆けて果粒が鮮赤色で美しく、食味が優れる赤色系ぶどう品種「安芸クイーン（ブランド名：伊賀乙女）」を導入して特産化を図っています。

しかし、今後とも特色のある産地を維持、発展させていくためには、いち早く優れた新しい品種の導入を図っていくことが不可欠です。

伊賀農業研究室では、独立行政法人果樹研究所ブドウ・カキ研究部が育成したブドウ新系統の伊賀地域での適応性を検討してきましたが、その中で有望と判定された安芸津23号が「シャインマスカット」として品種登録される見込みになりましたので、その特性について紹介します。

「シャインマスカット」は、「安芸津21号(スチューベン×マスカット オブアレキサンドリア)×「白南」の交配組み合わせにより育成、選抜された黄緑色の2倍体品種です。

「シャインマスカット」の最大の特徴は、その特有の上品なマスカット香です。成熟期は「巨峰」とほぼ同じで、果粒の大きさは「巨峰」よりやや小さく、糖度が高く、酸は低い傾向で、食味は良好です。果肉は崩壊性で皮離れは「巨峰」よりやや劣ります。果房整形は巨峰に準じます。樹勢は強めですが花振りは少なく、結実は良好です。裂果はほとんどなく、比較的栽培がしやすい系統であると思われます。しかしながら、無核果が混入することや、果皮に緑色

が残るなど着色がやや不均一なこと、また他県の試験場では果梗が褐変しやすいとの報告があり、今後解決すべき栽培上の課題と考えられます。黒とう病にやや弱いようですが、雨よけ栽培では「巨峰」に準じた防除で栽培が可能です。

## 2. 技術の適用効果と適用範囲

三重県内のブドウ栽培地域で栽培が可能と思われます。「安芸クイーン」、「巨峰」とは成熟期がほぼ同じで果皮色が違うので、箱詰めなどの工夫により、贈答用など多様な消費者ニーズに応えるための品種として、経営の中に位置づけることができると考えられます。

## 3. 普及・利用上の問題点

現在、品種登録出願中ですので、実際に苗木が供給されるまでにしばらく時間を要する見込みです。

(西川 豊)



シャインマスカット

表 果実の特性比較（平成15年）シャインマスカット

品 種	(試験場所)	平均収穫日	果房重 (g)	果粒重 (g)	糖 度 (%)	酸 度 (%)
シャインマスカット	(伊賀)	8/29	458	10.1	18.7	0.36
シャインマスカット	(全国1)	9/16	384	9.7	17.8	0.45
巨 峰	(伊賀)	8/24	398	12.4	19.2	0.60
巨 峰	(全国2)	9/14	320	12.6	18.4	0.64

- 1 有核栽培を行う23場所の平均、うち伊賀を含む13場所が雨よけ栽培で、他は露地栽培  
2 有核栽培を行う20場所の平均、うち伊賀を含む12場所は雨よけ栽培で、他は露地栽培